

| 導入事例 | **イニシャル・ポイント株式会社** (情報サービス・通信業)

# 多要素認証サービス「JinCreek」に+Fシリーズをご採用 SIMスロットのないパソコンでも同サービスの導入が可能に

イニシャル・ポイント株式会社様は、2020年より、SIMの閉域網に特化した多要素認証(SIM認証、生体認証、デバイス認証)サービス「JinCreek」の提供を開始している企業です。同社が同サービスと連携させる端末を選定するにあたりこだわったことや、採用後のメリット、今後の展望についてお話を伺いました。

選ばれたPOINT

**多くの自治体導入実績と  
キックインサービスが  
+Fシリーズ採用の  
高いビジネスメリット**



initialpoint Co., Ltd.

## 会社概要

会社名：イニシャル・ポイント株式会社  
 所在地：〒102-0071  
 東京都千代田区富士見一丁目  
 3番11号  
 富士見DUPLEX B's 4F  
<https://www.initialpoint.co.jp/>



イニシャル・ポイント株式会社  
 代表取締役(CEO)  
 嶋村 俊彦 様

※当事例は2022年3月時点の情報です

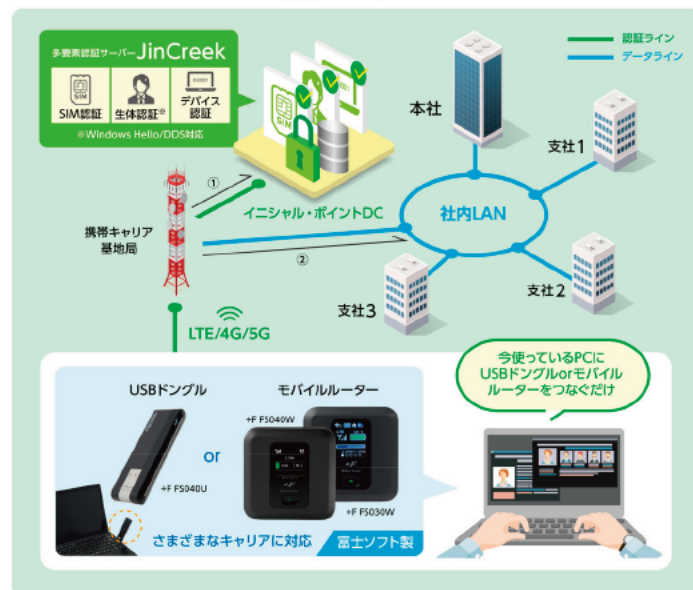
## 国内最高レベルの安全な 通信環境を提供

### 多要素認証サービス「JinCreek」 について教えてください

当社は2020年より、LTEモジュール(SIM)搭載のパソコンを対象に多要素認証サービス「JinCreek」の提供を開始いたしました。JinCreekはSIMの閉域網を利用し、ID/PASSに変わる3要素以上の認証を行うことで、なりすまじや不正アクセスを防止する認証サービスです。認証方法も自由に組み合わせることができ、お客様のニーズに合わせたオリジナルのセキュリティーを実現できます。コロナ禍や、働き方改革推進の流れを受け益々増加するテレワーク需要に向け、国内最高レベルの安全な通信環境を提供いたします。

JinCreekはインターネットを経由しないSIMの閉域網を利用して、多要素認証を行うため、当初はSIM搭載のパソコンを前提としていました。しかし、SIM搭載のパソコンに買い替えることなく、お客様が現在使用しているSIMスロットの無いパソコンでも導入を可能にするために、モバイルルーターやUSB Dongleを経由して多要素認証を利用できるように対応していく必要がありました。

### CONFIGURATION FLOW 構成フロー図



## 多くの自治体から支持され、 シェアを持つSIMロックフリー端末

**JinCreekに+F FS040W/+F FS030W/  
+F FS040Uをご採用いただくことになった  
経緯を教えてください**

私が起業に携わったベンチャー企業でも+Fシリーズのモバイルルーターを扱っており、同端末を某県庁様に導入いただいた実績があることや、当社のJinCreekを別の県庁様に提案した際にも、連携させる端末として、+F FS040Uを指定されたということがあり、+FシリーズのモバイルルーターやUSB Dongleは多くの自治体から強い支持とシェアを獲得しているということに強みを感じました。

加えて、SIMロックフリーの端末であるという点も、非常に重要でした。JinCreekはSIMの閉域網に特化した多要素認証を提供するため、お客様が使用しているバックボーンによって、SIMの閉域網も変わります。そのため、JinCreekと連携させる端末は様々なSIMに柔軟に対応できる必要がありました。これらを総合的に考慮した結果、モバイルルーターは、+F FS040Wと+F FS030W、USB Dongleは+F FS040Uを採用することに決めました。

## 大規模納品にも迅速に 対応可能なキittingサービス

**採用後、どんなメリットを感じていらっしゃいますか？**

自治体での導入実績に強みがあり、大規模案件の引合をいただく機会が増加しているため、協業したことによる高いビジ

ネスメリットを感じています。また、製品自体のデザイン性やコンパクトなつくりにも魅力があり、製品の品質以外にも、納品へのサポート体制が整っていることが非常に大きなメリットです。数千、数万単位の納品をする場合、いかに迅速にキittingできるかは重要な要素になります。富士ソフトからは、キittingに関するサービス提供が可能のため、迅速な納品対応が実現でき非常に助かっています。

## 多要素認証デバイスとして、IoT機器や スマートホームまで幅広く展開

**今後の展望を教えてください**

自治体や官公庁等、SIMを搭載したパソコンへの大規模な買い替えが難しく、モバイルルーターやUSB Dongleを経由してJinCreekの利用をご要望されているお客様は多数いらっしゃいます。今後はこうしたお客様に対して、一気に横展開を図っていきたく考えています。文教系においては、教職員や生徒に1人1台パソコンを配布するというケースが増えてきており、こうした案件には、アクセス可能サイトを制限できる+F FS040Wの活用を提案していくことで、よりお客様のニーズに沿ったアプローチをしていきたく考えています。

また、多要素認証サービスを実現するデバイスとして、現在はSIM搭載のパソコン以外にも、モバイルルーターやUSB Dongleと連携したパソコンでのアプローチを可能にしましたが、今後はIoT機器やスマートホームについての展開も視野に入れています。

様々なデバイスとの接続性向上やログを活用したサービス展開まで、幅広く富士ソフトと協業していけることを期待しています。

## +F FS040W / FS030W / FS040Uのご紹介

### +F FS040W / +F FS030W

#### SIMロックフリー

主要4社をはじめ、多くの通信会社に対応。



#### 長時間通信

Wi-Fi使用時最大20時間連続通信可能。



#### バッテリーレス稼動

バッテリーを外し、電源ケーブル接続だけで使用可能。



### +F FS040U

#### 2つの接続モード

簡単接続  
挿すだけで使用可能  
セキュア接続  
ATコマンド制御可能



#### +F MDMに対応

クラウド型MDMサービスで端末を遠隔管理

